

一般財団法人千葉県観光公社

令和元年度事業報告

I 事業概要

公社事業の実施にあつては、施設利用者の立場に立った、親しみやすく真心のこもったサービスの提供に努め、より多くの利用者に憩いと安らぎの場を提供し、各事業が地域経済や地場産業の活性化に貢献することを目的として、公社施設である「国民宿舎サンライズ九十九里」及び「千葉県観光物産センター」「レストハウスパテオ」の管理運営と、千葉県から指定管理者として受託した「内浦山県民の森」及び「館山野鳥の森の管理運営」、さらに九十九里町から指定管理者として受託した「いわしの交流センター（海の駅九十九里）」の管理運営を本年度実施した。

II 事業の実施状況

(1) 国民宿舎サンライズ九十九里

サンライズ九十九里は、季節ごとの宿泊プランや入込状況に応じた企画商品を公社ホームページや Web サイトを活用し販売するとともに、リピーターへの DM の送付、観光キャンペーンやイベント等でのチラシの配布、新聞・雑誌等に掲載する広報宣伝、特に本年度は、平日対策としてネットで“はまぐり食べ放題付きバイキング宿泊プラン”の販売や、スマートフォンなどの情報端末を活用した会員サイト『九十九里プレミアムクラブ』で九十九里町の旬な情報やお得な情報をリアルタイムでお届けするシステムを活用し、さらなるネットでの宿泊予約や情報発信の強化を図った。

しかし、9月の台風15号及び10月の台風19号の直撃により建物被害や大規模停電が発生し、営業中止を余儀なくされたことから、9月は12日間、10月も17日間全館休館することとなった。一方、災害復旧のための東京電力関連者の宿泊の要請を受けたこと、また、その後の復興特典プランの実施等で一定数の集客を図る事が出来たことから、令和2年2月の時点では、宿泊利用者累計数は、60,645人で、昨年同月と比べ2,509人の増であった。

ところが、前年末から急拡大した中国を発生起源とする新型コロナウイルス感染症の蔓延により、日本国内においても防疫のための外出・イベントなどの自粛が進み、それにより宿泊利用者のキャンセルが相次ぎ、本年3月期は前年度比5,199人減の1,292人となってしまった。

これにより、令和元年度の最終宿泊利用者数は、61,937人となり、前年度比2,690人の大幅な減となった。

このような状況のため、昼食についても利用団体のキャンセルが相次いだことから、利用者数は48,937人で前年度比2,007人の減、また日帰り宴会は7,023

人で前年度比 1,574 人の減となった、なお、室内温水プールについては、感染防止のため 3 月 3 日より当面の間営業を中止している。これらのことから、事業収入は、台風被害に係る受取保険金による収入を除き、1,011,257 千円であり、前年度と比較して 58,321 千円の大幅な減収となった。

支出においては、平成 30 年度から 2 カ年に渡り実施している緊急安全対策工事を実施中に、PC 版及び柱脚に爆裂やクラックの深い箇所が発見され、建築士に調査を依頼したところ、爆裂によるコンクリート片の落下等の危険性が高く、人的被害の可能性が非常に高いと指摘を受けたことから、元年 11 月から 4 ヶ月にわたる緊急の安全対策工事を 18,000 千円で実施したことが費用増の主な要因である。

(2) 内浦山県民の森

内浦山県民の森入園者数は 130,712 人であり、昨年度と比べて 27,768 人の減、森の宿せせらぎの宿泊利用者数は 4,456 人で昨年度に比べて、1,671 人の減となった。利用者の減少については、9～10 月の台風直撃による倒木被害や停電による休館、さらに新型コロナウイルス感染症の蔓延により、千葉県より感染症拡大防止のため、施設利用の自粛要請により施設利用者が減となった大きな要因である。これにより事業収入においては 92,997 千円で、前年度と比べて 4,821 千円の減となった。

(3) 館山野鳥の森

館山野鳥の森入園者数は 70,775 人で、昨年度に比べて 8,743 人の減であった。事業収入は 23,780 千円で昨年度に比べて 2,220 千円の増であるが、主な要因は、前年度と比較して指定管理委託料が 1,852 千円増であったこと、また売店商品の売上増によるものである。

(4) レストハウスパテオ

レストハウスパテオは、千葉ポートパーク利用者のための無料休憩所として自動販売機を設置し、その売上手数料による収入は 1,771 千円であった。

(5) いわしの交流センター（海の駅九十九里）

いわしの交流センター（海の駅九十九里）は、九十九里町の指定管理事業として、1 階直売所と 2 階フードコート 1 店舗を公社直営で営業を行った。九十九里町の観光と地域のブランドの創出を軸に、地域と連携し、町民の交流の場としてたくさんの方が賑わう施設作りと、利用者のニーズにあった話題性のある商品の開発に積極的に取り組み、事業収入では 238,208 千円で、昨年度に比べて 31,565 千円の増となった。

(6) 千葉県観光物産センター

本センターは、平成 30 年 7 月～令和 2 年 6 月の間、㈱石塚興産と全棟貸出契約を締結しており、レストハウスパテオへの本社機能移転を進める中、それに伴う賃貸料収入による事業収入は 19,247 千円であった。

以上が令和元年度の主な事業の実施状況であるが、自然災害や感染症拡大による営業被害の影響はあまりにも大きく、公社全体の事業収支は 29,227 千円の損失となってしまった。

なお、決算状況の概要及び施設別の利用状況については別表のとおり。

別表 【決算状況の概要】

(単位：円)

経常増減の部	金額
経常収益	
受託料	65,143,100
単独収益	1,321,921,897
営業外収益	314,805
経常収益合計	1,387,379,802

経常費用	金額
事業費	1,410,039,301
管理費	3,616,002
営業外費用	2,320,650
経常費用合計	1,415,975,953

当期経常増減額 ①	▲28,596,151
-----------	-------------

経常外増減の部	金額
経常外収益	43,944,690
経常外費用	44,575,564
当期経常外増減額 ②	▲630,874

当期一般正味財産増減額 ①+②	▲29,227,025
-----------------	-------------

別表 【施設別の利用状況】

(1) 国民宿舎サンライズ九十九里

区分		元年度	30年度	比較	29年度
利用内訳	宿泊者	61,937	64,627	▲ 2,690	64,508
	会議室・休憩	17,514	15,604	1,910	16,229
	多目的ホール	10,681	8,874	1,807	6,953
	庭球場	3,862	4,530	▲ 668	3,989
	水泳場	73,237	86,001	▲ 12,764	84,698
	計	167,231	179,636	▲ 12,405	176,377
事業収入		1,011,257	1,069,578	▲ 58,321	1,065,423

※ 元年度は受取保険金収益を含まない

(2) 内浦山県民の森(森の宿せせらぎを含む)

区分		元年度	30年度	比較	29年度
利用内訳	入園者	130,712	158,480	▲ 27,768	157,143
	せせらぎ	4,456	6,127	▲ 1,671	6,261
	ログキャビン	5,326	5,248	78	5,309
	その他	16,911	20,149	▲ 3,238	19,910
	施設利用者計	26,693	31,524	▲ 4,831	31,480
事業収入	単独収入	50,792	61,800	▲ 11,008	62,140
	受託料収入	42,205	36,018	6,187	36,481
	計	92,997	97,818	▲ 4,821	98,621

(3) 館山野鳥の森

区分		元年度	30年度	比較	29年度
利用内訳	入園者	70,775	79,518	▲ 8,743	78,355
事業収入	単独収入	3,595	3,227	368	2,882
	受託料収入	20,185	18,333	1,852	18,426
	計	23,780	21,560	2,220	21,308

(4) 海の駅九十九里

区分		元年度	30年度	比較	29年度
利用内訳	施設利用者	211,734	206,477	5,257	
	1階 直売所	96,322	93,214	3,108	
	2階 葉武里	41,968	32,426	9,542	
	小計	138,290	125,640	12,650	
	1階 矢仲水産	10,441	10,442	▲ 1	
	2階 わたしの店	47,293	43,501	3,792	
	2階 茂丸	15,710	26,894	▲ 11,184	
	小計	73,444	80,837	▲ 7,393	
事業収入	単独収入	235,456	204,097	31,359	
	受託料収入	2,752	2,546	206	
	計	238,208	206,643	31,565	

※ 茂丸は、元年9月末で撤退

※ 1階直売所・2階葉武里は、観光公社直営